

2008 お買い物で国際協力

東洋大学国際地域学科

推薦者 宇佐美 真弓さん(2年)

子象の貯金箱

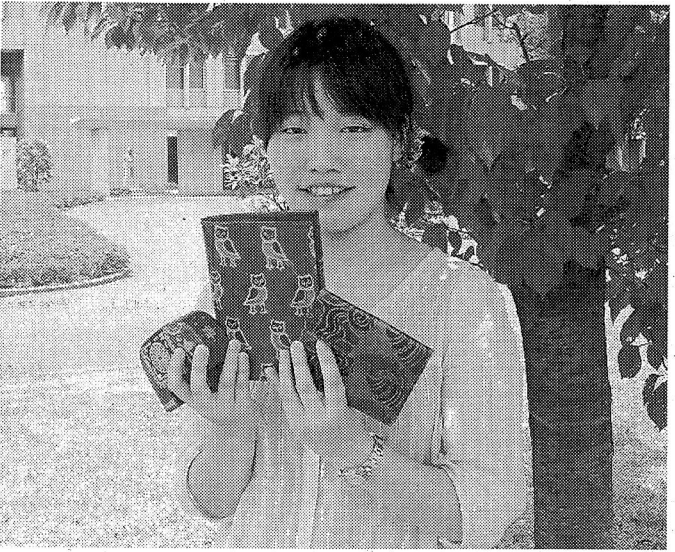
今回、私が紹介するのは、「山羊革で作られた子象の貯金箱」(13365円)です。これはインドの団体で生産されているもので、天然素材である山羊革を使用しています。この山羊革細工は、サン

インド製の山羊革細工

手作業で型押し、色付け

スクリット語で「平和郷」を意味する「シャンティニケタン」と呼ばれています。山羊の革を植物性のタンニンでなめし、すべて手作業で型押しと色付けをしています。山羊革は使い込むと光沢が生まれてアメ色になり、独自の味わいを出して手になじんでくるのが特徴です。またとても色鮮やかでデザインもこまかく、日本人に好まれるものになっています。

私たちにこの山羊革細工のシャンティニケタンを届けてくれるのは、チャタジーさんをはじめとする十数名のワーカーです。バングラデシュか



山羊革細工3点(子象の貯金箱、ブックカバー、財布)を持つ宇佐美さん

らの難民だったチャタジーさんは、移り住んだインド西ベンガル州で山羊革細工を学びました。今なお毎日のようにやってくる難民たち。一つ一つ手作りされるシャンティニケタンには、チャタジーさんの平和や自立への思いが込められています。

フェアトレードと呼ばれる、南(途上国)と北(先進国)の経済格差の改善を目指す貿易は、1960年代にヨーロッパで始まりました。この貯金箱を販売している「第3世界ショップ」は、86年から活動を始めた日本では老舗のフェアトレード団体です。「第3世界ショップ」では、フェアトレードをベースとした独自の「コミュニティ・トレード」を進めています。

コミュニティ・トレードとは、地域の問題解決に役立つビジネスとそこから出来る商品やサービスの交流・流通の形です。現在、26カ国83団体のパートナーから直接商品を仕入れています。国内の生産者とも連携しているのが特徴です。自立・協同・共生の三つの柱を掲げ、ただ商品売る、あるいは買うだけではなく、生産者と消費者が長期的に安定した関係でいられることを目標としています。

▼東洋大生によるフェアトレード商品販売「お買い物で国際協力」は8月19日午後1時から館林つじの里ショッピングセンターいこいの広場で開始。24日まで(初日以外は午前10時から午後9時)。